

会 議 録

会議名 (審議会等名)		野外体験教室運営協議会		
事務局 (担当課)		相模川自然の村野外体験教室 電話042-760-5445 (直通)		
開催日時		令和5年10月24日(火) 14時00分～16時00分		
開催場所		相模川自然の村野外体験教室 ミーティングルーム		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)		
	その他	無		
	事務局	6人(石長所長、福井所長 他4人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議題		1 会長・副会長選出 2 報告 (1) 令和4年度利用状況について ア 若あゆ、やませみの利用状況について イ 主催事業について (2) 令和5年度利用状況について ア 若あゆ、やませみの利用状況について イ 主催事業について 3 議題 (1) 令和6年度に向けて ア 学校利用等について イ 青少年団体利用について ウ 主催事業について 4 その他 ・感染症等対応について ・その他		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 会長副会長選出

会長に福井委員、副会長に松石委員が選出された。

2 報告

(1) 令和4年度利用状況について

ア 若あゆ、やませみの利用状況について

(2) 令和5年度利用状況について

ア 若あゆ、やませみの利用状況について

資料に沿って事務局から説明

(福井会長) コロナで大分利用者が落ち込んで、青少年団体がなかなか戻ってこないというのがあると思うが、その中でも鼓笛隊が令和2年度から0件となっている。今後の見通しは如何か。また、人が減っている要因は中学校の利用が少し減っていて選択制になったということでは仕方がない。また、鼓笛隊やスポーツ少年団が落ち込んでいる。そのあたりが今後戻ってくる兆しがありそうなのか分かる範囲でお願いしたい。

(事務局) 若あゆについては鼓笛隊について令和5年度は具体的な数字は出ていないが、またご利用いただけるようになってきている。やませみについては、スポーツ団体が大半を占める。年間どの位になるか予測は出ていないが、活動も活発になってきていて、やませみの利用も少しずつ増えてきている。それ以外の団体についてはまだ戻ってきていない状況にある。

(事務局) 令和5年度は、鼓笛隊、ダンスクラブ、空手クラブについては徐々に戻りつつある。昨年度までのコロナ禍は建物の中では運動や歌を歌うことは禁止だった関係もあって利用者がいなかった。今年度はふれあいホールのエアコンを改修したので、鼓笛隊も快適に練習できるようになった。徐々に利用は戻ってきている状況である。

(松石副会長) 中学校の2泊以上の利用が減ってきている。中学校の事情もあるかとは思いますが、若あゆ、やませみとしてどのような感じで受け止めているのか。

(事務局) 中学校の先生方とお話すると、1泊2日で帰られる時にもう1泊した方が教育効果高いというのは、結構な数の先生方がそういった実感をもって若あゆ、やませみを利用してくださっているようだ。ただし、そういった先生方の思いとは裏腹に、学校の行事なども密になっていたりするので1泊2日にせざるを得ないという状況もあると捉えている。我々も1泊2日より2泊3日の方が教育効果は高いものと思っている。そういったものを推奨しているが、現実的にはなかなか厳しい現状があるようだ。

(事務局) 補足で、若あゆ、やませみとしては2泊3日の方が成果をあげやすく子ども達も変わるといのは適宜学校に伝えている。コロナの関係で中学校について令和2年度は宿泊を全て取りやめ日帰りで実施した。現在は日帰りでやるどころ、1泊2日でやる学校、2泊3日でやる学校が点在している状況である。今後も引き続き若あゆ、やませみとしては、2泊の方が、教育効果が高いということは学校に伝えていくが最終的には学校の方での判断となる。

(斎藤委員) 2泊3日のプログラムのメリットは色々あると思うが、学校として考えてみると、若あゆとうまく計画が合えばいいが、それがなかなかうまくいかない。限られた時間の中で難しい面もある。

(大貫委員) 令和5年度の受入れは2団体までということで4年度と変わっていない。これは何かあるのか

(事務局) 現在も受入れは2団体までとなっている。解除に向けての動きはしている。若あゆ、やませみの設立の目的は学校教育のための施設なので、まずは、学校教育の団体を受け入れる体制をしっかりと作る。その後、空いたところに青少年団体というスタンスなので、学校受入れに影響がないように利用団体を絞らせて受け入れている。

(大貫委員) 2団体くらいがベターということか。

(事務局) 今まで2団体でやってきている。今年度ちょっとずつ戻していこうという動きの中で、1月から2団体という枠は、若あゆは取り払う。ただ全面的に何団体まで受け入れるということを出してはない。団体の人数にもよる。最大はコロナの前は4団体だった。そのあたりも先程数が減っているということに影響していると思う。鼓笛隊についても今までは2団体の受入れ枠で、抽選で漏れたということがあったがそのあたりは対応できてくると考えている。

(笹野委員) 青少年団体は土曜日、日曜日の利用か。

(事務局) 基本的に土曜日、日曜日の利用である。

(1) 令和4年度利用状況について

イ 主催事業について

(2) 令和5年度利用状況について

イ 主催事業について

資料に沿って事務局から説明

(諏訪原委員) 主催事業の参加者はリピーターの方が多いのか。

(事務局) 食農体験デーは特にリピーターの方が多くて、6月に稲を植えて、再度収穫に来ましたという人もいれば、「昨年度10月に参加した時に収穫したお米を今回食べました。」という人もいて、すごくリピーターが増えている。半分位はリピーターのような感じがする。顔見知りが増えてきて嬉しい感じがする。スターフェスティバルは天気によって左右されてしまう。またぜひ見たいという方はきてくれている。

(諏訪原委員) それだけよい素敵な活動だが、市民の方々にお知らせする方法、周知はどのようにしているのか。

(事務局) 周知は広報さがみはら、ホームページを通しておこなっている。その他はチラシを施設内に置いて利用する青少年団体に渡して周知している。

(藤井委員) 広報さがみはらで周知しているとのことだが、何か月前位から行っているのか。気が付くと予定が重なっていることがある。もうちょっと早めにしてくれるととても助かると思う。

(事務局) 大体12月実施のスターフェスティバルが10月15日頃なので2か月～2か月半前となっている。

(事務局) 日程自体は前年度中にある程度固まる。ホームページあたりに予定として出すことは可能。少し早めの周知は考えていきたい。

(福井会長) 年間の計画が固まった時点で、何月ごろから募集開始で詳しくは何月の広報さがみはらをご覧ください。とお知らせすれば親切かなと思う。

(事務局) 今若あゆは60名募集で抽選なしでいけている。ちょっとオーバーはするが何とか全員を受け入れられている。やませみの自然体験スクールは申込人数が多くて抽選になる。

(福井会長) 自然体験スクールの陣馬山登山をこれから実施すると思うが昨年中止となっている。何故中止になったのか。

(事務局) 昨年は霧が出る予報になっていたので参加者の安全を考え前日のうちに中止を決定した。

(福井会長) 天候不順や熊、猪が出る時期が例年この時期なので、毎年中止になりやすいようであれば、秋がよいとは思いますが検討が必要だと考える。

3 議題

(1) 令和6年度に向けて

ア 学校利用等について

イ 青少年団体利用について

ウ 主催事業について

資料に沿って事務局から説明

(大貫委員) 防災関係の説明がやませみ中心だったが、若あゆの方はどのようなことを考えているか。

(事務局) 若あゆの方も防災プランの計画は持っている。今後、学校の要望に合わせて防災をテーマとした学習ができるようにしていく。(「防災野外炊事」、「防災グッズを作る」、「災害になりそうな所を見てまわるオリエンテーリング」等)今年度は学校からの要望がない状況。学校との打合せの時には紹介はしている。

(大貫委員) 学校から要請があればできるということか。

(事務局) そういことである。打合せの中で「学校が何をしたいか」ということと、「若あゆでは何ができるか」ということを擦り合わせて計画を立てるのでニーズがあれば対応できる。

(大貫委員) 若あゆとして防災関係をやりますと指導することは考えてはいないか。

(事務局) 各校には打合せ等の段階でアナウンスはさせてもらっている。

(大貫委員) 何年か前の台風で津久井湖が放水した時にキャンプ場のところに水がきたことがあった。

(事務局) その時の映像も撮ってあるので、そこを入口として、災害時発生時に自分たちがとるべき行動について考える学習についても計画は立てている。

(笹野委員) 若あゆの施設改修をする際に地域防災の拠点的な機能を持てるように加味した上でやってほしい。

(事務局) 防災拠点の立地条件としては若あゆが低いところにあるので防災拠点としては難しい。警戒レベル3発令の時は垂直避難で3階に上がるということになっている。

(笹野委員) せっかくこれだけの施設があるのだからそれを使わない手はないと思う。

(福井会長) 防災の話があつたが、学習指導要領の改訂があつて、3年生でやっていた防災を1年生でやっている。地震と火山は1年生でやって、台風等気象災害は2年生でやっている。2年生の気象で台風とか水害の話をするので、ここの施設は何故防災拠点にできないのかということ

るを考えさせたり、垂直避難という考え方とか自分たちで考えさせたりする形で気象災害と自分の身を守ることをうまく結び付けてやるとちょうどよい場所かもしれない。例えば昔ここの水が上がったことがあるとか写真を入れたりしてこんな学習ができます。というような学習内容を考えれば利用する学校もあるかと思う。

(笹野委員) 農業関係は皆年をとってしまい息子がいるのがほんのわずか。後継者がいない。現状はそのような状況である。

(福井会長) 次のことをいろいろ考える時期にきているのではないか。

(笹野委員) 何か解決策はあるとは思いますが、興味があってやれば面白いとは思うのだが。跡継ぎがないというのは農業分野だけではないと思う。実際に田んぼにきて農業指導ができる人もいなくなっている。

(大貫委員) 若あゆなども食農体験等を今後続けていくためには、そのあたりの後継者をさがしていかないと途切れてしまうのではないか。

(諏訪原委員) 今来ている子供たちがやりたいとやってきてくれるようだといいのだが。

(笹野委員) 前に一度だけ「将来農業やりたい」と言ってくれた子どもがいた。

(福井委員) 参加者やリピーターの方、学生のボランティアに声をかけて手伝ってもらえる人がいればいいかなと思う。新しいやり方を早めに考えていった方がよいのではないか。

4 その他

・感染症対策について

(事務局) 基本的にはコロナ禍前に戻していくことで進めている。学校の方で要望があれば、室内換気のサーキュレーターや飛沫防止対策でのサンシェードについて今年度は設置している状況なので学校と相談しながらやっている。外の手洗い場も使える状況になっているので感染状況をみて進めていければと思っている。宿泊部屋の定員については状況をみて減らすことも可能ですということは学校に伝えている。

・その他

(事務局) 資料にある令和5年度と6年度の利用計画について、中学校の利用について令和6年度は利用のない学校が2校減って9校から7校になる。3年間の中で教育課程を考えているという中で、学校の先生も生徒も変わるので、今後もずっと若あゆ、やませみを使わないということにはならないのかなと感じている。引き続き若あゆ、やませみの利用方法だとかこういう使い方ができるというのは適宜中学校には伝えていきたい。また青少年団体利用について今後増やしていく方向。主催事業の日は青少年団体の利用は今はやめている状況だが例え

ば主催事業もやりつつ青少年団体も受け入れたりと、1泊2日の枠があるが形を変えれば受入れ体制はいけるかなとは思っている。若あゆ、やませみの職員の数も減ってはいるが、うまくやり繰りすれば何とかコロナ前に戻っていけるかなと考えている。今日いただいたご意見を参考にさせていただきながらやっていきたいと思う。

(福井会長) 最初に委員の紹介があったが、公募の委員が欠員になっている。今後の見込みはどうなっているか。

(事務局) 委員の任期は2年間ということで、公募委員の募集を昨年度したところ応募がなかったということで、また次の改選にむけては公募をしていくと思うが今回の任期の中では公募の委員については欠員ということでいく。

(福井会長) 補充はしないのか。

(事務局) 今回の任期の間での補充はなしということで考えている。

(福井会長) 規定で11名とあるので補充があるのかなと思ったが如何か。

(事務局) 規定上11名以内となっているので応募がなければ仕方ないと思っている。

(福井会長) どなたか声をかけていただいて、「いいですよ。」という方がいたらやっていただく可能性はないか。市民の方がいいのかなと思うが。制度上難しいか。

(事務局) そのあたりは確認する必要があると思う。

(福井会長) 年度途中でもまだ2年ある。まだ始まったばかりなので、昨年度までやられていた方とか、皆様のお知り合いでよい方がいらっしゃったら声をかけていただき、応募していただいた方がよいと思う。

(事務局) 次回の野外体験教室運営協議会については、令和6年の9月から10月頃に開催をする予定。また開催日が近づきましたら委員の皆様にはご案内をさせていただく。なお、事務局としては次回の協議会をやませみで開催できればというふうに考えているが如何か。いつもの若あゆからは遠くなってしまいが如何か。

(福井会長) 来年になるのですか。以前は年2回やっていた。3月位にもやっていた記憶がある。

(福井会長) やませみは一度も見たことがない。行ってみたいとは思いますが、交通の手段がある方、ない方もいると思うので。率直に申し上げて厳しいところもあるのかなと思う。

(事務局) やませみで開催となったら交通の方法は考えたいと思う。

(福井会長) それでは、事務局に一旦お預けするというところで如何か。反対意見なしのため事務局の方でお願いします。

野外体験教室運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	福井 智紀	麻布大学	会長	出席
2	諏訪原里絵	双葉小学校		出席
3	齋藤 敦	緑が丘中学校		出席
4	福田 豊	相模原市子ども会育成連絡協議会		欠席
5	藤井 朱起	ボーイスカウト相模原第5団		出席
6	笹野 茂	下大島地区ふれあい農業組合		出席
7	佐藤 輝美	活動協力者		欠席
8	大貫 君夫	大島観光協会		出席
9	松石 藤夫	活動協力者	副会長	出席